

明治国際医療大学だより

News from Meiji University of Integrative Medicine

Vol.8

大学情報誌



卒業おめでとう!

平成25年度卒業式・学位授与式が3月14日(金)に執り行われ、140名の学生達が未来に向かって新たな一歩を踏み出しました。式典では、学生全員に対して岩井学長より一人ひとり呼名のうえ、学位記が手渡されました。少し肌寒い気候ではありましたが、晴天に恵まれ、心に残る卒業式となったことと思います。今後のみなさんのご活躍を心よりお祈りいたします。卒業式終了後は「京都ブライトンホテル」において、卒業記念パーティーが開催されました。4年間共に過ごした仲間や、お世話になった教職員の先生方と大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。なお、このたびの卒業生の国家試験合格率は、はり師84.4%、きゅう師88.9%、柔道整復師86.2%、看護師96.8%で、比較的高い合格率を得ることができました。また、就職率(4月1日現在における就職希望者に占める就職者の割合)についても、鍼灸学部100%、保健医療学部95.8%、看護学部98.5%と高成績を残すことができました。

成績優秀者 各賞発表

学長賞	平川 恵麗(鍼灸学部)
学長賞	角谷 博光(保健医療学部)
学長賞	肥後 宏旭(看護学部)
谷口健蔵賞	齊藤 真吾(大学院博士後期課程)
全日本鍼灸学会会長表彰	立田喜久代(鍼灸学部)
日本鍼灸師会賞	武田 真輝(鍼灸学部)
日本柔道整復接骨医学会賞	梅垣 瑞穂(保健医療学部)
日本柔道整復師会会長賞	村上 友斗(保健医療学部)
日本私立看護系大学協会会長表彰	高橋 航平(看護学部)
京都府看護協会花束	森畑千佳子(看護学部)
答辞	米満 伸也(看護学部)

ポルトガル総合スポーツクラブ 「SLベンフィカ」と協定締結

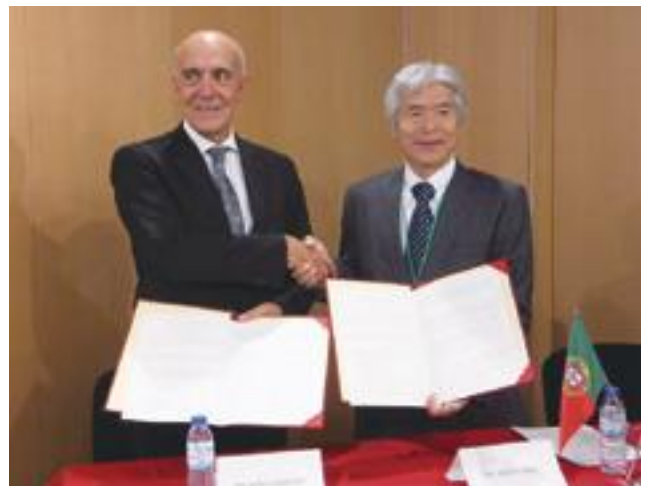
明治国際医療大学「国際スポーツトレーナー養成プログラム」発足!

本学では、国際的に活躍できるスポーツトレーナーの養成に取り組んでおり、9月9日、ポルトガル・リスボンでスポーツ医療に関して技能向上や人材育成を進めるため、同地の総合スポーツクラブ「SLベンフィカ」と交流協定を結びました。協定締結の後に行われた学生たちの「国際スポーツトレーナー養成プログラム」では、ポルトガルの首都リスボンにある総合スポーツクラブ「SLベンフィカ」で一週間の研修を行い、クラブ所属のトップ選手らが受診する付属クリニックや診療所での体験を通して、スポーツ医療の最前線を肌で感じ、医療の提供や選手の健康管理について学びました。また、この度の国際養成プログラムは、京都新聞の「@キャンパス」の取材も兼ねて行われ、11月13日(水)の夕刊に掲載されました。「@キャンパス」は、京都と滋賀の大学生が、自らテーマを決めて、大学や街の話題、社会の問題、地域での活動などを取材し、レポートするコーナーです。記事の概要は本学HPに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

@キャンパスの学生記者 — 鍼灸学部:山下光一郎(4年)、道端悠馬(3年) 保健医療学部:相坂脩太(4年)、安芸洸平(4年)、笠井一志(4年)、谷遼典(4年)、山浦賢太郎(2年)



学生記者[前列(左から):安芸、谷、相坂、笠井 後列(左から):山浦、道端、山下]



国際交流協定調印式(左:ベンフィカの医療統括 ジョアン・デ・アルメイダ医師 右:本学岩井学長)

本学学生が京都府名誉友好大使に任命されました



看護学部3年 ラブロウ・セーニャさん(ドイツ出身)が京都府名誉友好大使に任命され、去る平成25年6月19日(水)京都府立府民ホールにて任命式が執り行われました。京都府名誉友好大使とは、京都で勉学に励む留学生に、府民との交流や国際化事業への協力を通じ、京都府についての理解と友情を深めていただくとともに、「親京都派」として京都府と世界各地との友好的「かけ橋」となることを願い京都府知事より任命されます。なお、平成25年度は15名任命されました。また、ラブロウさんのブログが10月9日(水)の読売新聞で「留学生が発信する京都の魅力を伝えるブログ」に関する記事として掲載されました。

<http://studykyoto.wordpress.com/2013/08/13/149/>

第36回 たには祭

明治国際医療大学祭「たには祭」が去る10月19日(土)～20日(日)の間で開催されました。当日は雨天予報だったにもかかわらず、学生達の日頃の行いが良かったのか、曇り時々晴れとなりました。今年度はゲストとしてよしもと芸人さん(天竺鼠・ガリガリガリクソン・銀シャリ・ダイアン・吉田たち)、園部吹奏楽団の皆さん、南丹娘さん達にお越しいただきました。また、K-1ことカラオケグランプリは卒業生や来場者の飛び入り参加もあり、大いに盛り上がり、看護学部の大岩さんが優勝されました!例年新たな企画が開催され、楽しい大学祭となっておりますので、是非お越しください。



南丹市と連携協力包括協定を締結しました



本学と南丹市は、11月25日(月)、「大学と行政が協働するまちづくり」を目指し、相互の知的・人物・物的資源の交流・活用を図ることを目的とした包括協定を締結しました。これまで本学は、所有する医療・健康・スポーツに関する資源を用いて、近隣地域でスポーツケア、リカレント教育、子育て支援、市民公開講座等の諸活動を行ってきました。今回、南丹市が掲げる「大学等と連携しともにまちをつくる」というコンセプトのもと、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域コミュニティの形成・発展に本学が南丹市の「知の拠点」として寄与していきます。

ベストティーチャー賞、パブリシティ・オブ・ザ・イヤー賞

平成25年度のベストティーチャー賞及びパブリシティ・オブ・ザ・イヤー賞の授賞式が執り行われました。ベストティーチャー賞は、本学における教育活動に顕著な成果をあげた教員に対し、また、パブリシティ・オブ・ザ・イヤー賞は、本学における著作・広報活動で顕著な成果をあげた教員に対し贈られました。なお、両賞とも今回が第1回目の受賞となります。

ベストティーチャー賞 鍼灸学部 保健・老年鍼灸学講座 講師 水沼 国男(前列左)

選考理由:独自の授業アンケートから、学生本位に工夫を凝らした教材を用い、徹底した個別指導により多様な学生ニーズに対応した。学生の卒業時アンケートでも「印象に残った先生」に挙げられるなど高い評価であった。

パブリシティ・オブ・ザ・イヤー賞 鍼灸学部 臨床鍼灸学講座 准教授 伊藤 和憲(前列中)

選考理由: Journal of Acupuncture and Meridian Studies (Elsevier)に投稿した論文がAMSのSa-Am Awardを受賞したことで、附属鍼灸センターの紹介と合わせて鍼灸系雑誌で特集されるなど、多くの機会でも取り上げられ、高い広報効果が認められた。

パブリシティ・オブ・ザ・イヤー賞 保健医療学部 臨床柔道整復学講座 講師 神内 伸晃(前列右)

選考理由: デリバリー講習会など学生確保に向けた取組みが顕著であり、その工夫に満ちた講演と実技指導により、新聞で5度取り上げられるなどのパブリシティが評価された。



国家試験への道

本学は、日本で唯一、卒業前の3年生の時点で国家試験を受験することができます。今回は、本学が手厚く取り組む、国家試験までのフォロー体制をご紹介します。



4年生

魅力的な実習やゼミが待っている!

国家試験学内模試 — 一番さながらの緊張感



教員による個別指導 — 教員が手厚く指導

2年生

・鍼灸総合演習 基礎

国家試験対策講義

3年生

・鍼灸総合演習 臨床
・鍼灸総合演習 応用
・国家試験学内模試
・クラスアドバイザーによる個別対応

国家試験対策講義

1年生

解剖学、生理学など充実した基礎科目

国家試験では、こんな問題に立ち向かう!

鍼を刺した後、鍼に触れずに刺激を与える手技はどれか?

- ①雀啄術 ②鍼尖転移法 ③内調術 ④副刺激術



自習スペース — 学生が猛勉強中



柿沼恵理子さん



中村沙樹さん

3年生にインタビュー

柿沼 うちの模試は、学生の勉強進度に合わせて難易度が変わるから、効果的で役立つよね。

中村 自分自身の課題に気づかせてくれるし、やる気も出ます!

柿沼 そうそう。それに、先生方もよく声掛けしてくれるし、嬉しいよね。

中村 先生もですし、家族の気遣いも、とってもありがたいですよ。

国家試験対策委員 竹田先生からのコメント

学生さんの頑張りには負けないように、教員も全力を尽くして、バックアップを行っています。わからないことがあれば、なんでも教員に相談してください。



いざ実践現場&自分の学びを深める

保健医療学部では、3年次から病院やスポーツ現場での実習が始まります。スポーツ実習では、サッカーリーグやマラソン大会、スキー場など様々な場所での応急処置やケア活動を行います。4年次には自分の興味を追究するための卒業研究が始まります。今回は、スキー場での応急処置実習と卒業研究を行うゼミについて、少しご紹介します。

スポーツ外傷応急処置実習 (スキー場実習)

兵庫県神鍋高原 万場スキー場の協力を得て、ブースを設置し、スキーやスノーボードで受傷された患者さんに対して保健医療学部の教員が治療・施術を行います。学生は、問診および治療・施術の補助を行います。宿泊先では、その日に遭遇した傷害に対して、教員と学生でカンファレンスをし、実習終了後、レポートを完成させます。



ブース内での実習風景



保健医療学部3年生 原田涼平くん



実習当日、節分だったので宿泊先のはからいで恵方巻きがふるまわれました。

今回、スキー場実習の中で、実際の患者さんに対して施術の補助を行いました。座学では感じることのできない緊張感の中、今までに大学で学んだことを最大限に活用し、患者さんの不安や痛みを和らげるよう意識して最善をつくしました。この実習を通して、患者さんの接し方や、診察・治療の流れ、また、患者さんを治療することの難しさを学ぶことができました。この実習で受けた多くの刺激を胸に、残りの大学生活で勉学に励んでいきたいと思っています。そして、ここで経験したことや、感じたことを、これからの将来に活かしていきたいと思っています。

卒業研究 ゼミ活動

保健医療学部 臨床柔道整復学講座 川村 茂

4年生の卒業研究・ゼミ活動では、実験・研究、卒論執筆指導だけではなく、小グループのメリットを活かして国家試験に向けてのサポートなども行っています。勉強や実習などで困っても気軽に相談できる環境を整えています。



保健医療学部卒業生 相坂脩太くん



茂(川村)先生は、僕たち学生が普段感じる疑問にあたることを研究されており、まずそこに興味を惹かれました。これは僕たちが卒業して、臨床に出てから患者さんに説明する時に大変生きてくと実感しております。先生の臨床実地の経験と、最新機器を用いての研究により、的確な御指導を頂きました。また、僕たちにとって、よき兄貴分でもあり、色々な相談に乗って頂き、頼りになる存在でした。

川村ゼミ、バンザイ!



[左から]八木謙太郎くん、相坂脩太くん、川村 茂 講師、八木勇気くん

卒業研究

看護学部では3年生後期から4年生後期にかけて卒業研究に取り組みます。そこでは、学生の希望をもとに教員1名が2、3名を担当し、1年をかけて論文作成やゼミ内での発表までを行います。文献研究、インタビュー、アンケートなどを通して看護をより深く理解できるようになります。



リハビリ看護学ゼミの発表風景です。短い時間で研究成果を伝えることの難しさを学びます。発表後には、学んだことやさらに検討すべき点など、互いに意見交換をします。

老年看護学ゼミの発表風景です。近い将来の学会発表を見据えて、学会発表形式で実施しました。



あとに続く3年生も交えて、ゼミ発表終了後の記念撮影です。ゼミ発表は、学生生活4年間の総仕上げでもあります。お疲れ様でした。

本学の脳神経外科教授、樋口敏宏先生に

「頭痛の話」をお聞きしました

偶然にも、日頃から頭痛を感じる職員がインタビュアーとなりました。

職員 本日はよろしくお願いします。頭痛をよく感じるのですが、頭の病気なので怖いイメージがあります。

先生 頭痛は、とても身近です。全国で3000万人が頭痛を自覚しています。頭痛には「心配が必要な頭痛」と「心配しなくてもよい頭痛」があります。心配が必要な頭痛『二次性頭痛』は脳の病気によっておこる頭痛で、代表はクモ膜下出血と脳腫瘍、脳出血、髄膜炎です。特に、クモ膜下出血は命に関わりますので、すぐに病院に行く必要があります。

職員 クモ膜下出血の症状の特徴はどのようなものですか。

先生 今までに経験した中で最も痛く、突然に起こる頭痛です。「頭に雷が落ちたような」とか「ハンマーで突然殴られたような」と表現する方もいます。このような症状を感じたら、迷わずに救急車で病院に向かって下さい。

職員 さすがにそこまで強い頭痛を感じたことはないです。では「心配しなくてもよい頭痛」についても教えてください。

先生 心配しなくてもよい頭痛『一次性頭痛』は、脳自体ではなく、周囲の筋肉や血管の異常によって生じている頭痛です。頭痛外来に來られる患者さんのほとんどは、このタイプです。有名なのは片頭痛でしょう。国内には800万人の片頭痛患者がいると言われていて、ズキンズキンとした頭痛で、心拍に一致して痛みを感じます。脳の血管が広がるために起こる頭痛で、吐き気や嘔吐を伴うことがあります。1ヶ月に1~2回起こる方が多く、光や音、においに敏感になります。入浴や飲酒で悪化しやすく、薬による治療が行われます。鍼治療によって、片頭痛を感じる日数が減少するとの報告もあります。さらに多くの患者さんを悩ませているのが緊張型頭痛で、2200万人の方に症状が見られます。原因は、頸と肩のこり(筋緊張)やストレスです。締め付けられるような重い感じの症状で、繰り返しやすいのが大きな特徴です。

職員 緊張型頭痛の治療には、どのようなものがありますか。

先生 頸や肩のこり(筋緊張)が原因ですので、軽い運動やマッサージ、ストレッチが効果的です。入浴も良いですね。また、鍼治療が良く効きます。薬を使うことなく数回の鍼治療で症状がなくなる方もいます。薬の副作用がありませんので、鍼治療はお勧めの治療法の一つです。この頭痛は繰り返しやすいので、治療だけでなく予防も重要です。同じ姿勢で仕事を続けている場合や目の疲れを感じた場合には、作業を中断して休憩をとり、コリやストレスを溜めないことが大切です。

職員 鍼治療が効くのですね。今度、試してみようかな。頭が痛い時に「この痛みは緊張型頭痛かな?」と思っても、怖いイメージが頭から離れず漠然とした不安を感じることがあります。

先生 CTやMRIで脳の検査をすると、脳の問題を区別できます。不安を感じている方は近くの病院で検査を受けると良いでしょう。

職員 なるほど。頭痛に対する不安がだいぶ解消しました。ありがとうございました。

頭痛を自覚する方は



肩を上下させる



頭を左右に倒す



頭を回転させる



附属統合医療センター

附属統合医療センターは、2010年11月に洛西キャンパス内の京都エミナス6階に設立されました。ここでは、西洋医学、漢方、鍼灸をはじめ、マッサージ、アロマセラピー、心理カウンセリング、サプリメント・カウンセリングなどさまざまな医療を組み合わせ、医師と鍼灸師、マッサージ師、アロマセラピスト、臨床心理士などがチームを組んで、患者一人ひとりにあった治療を行っています。また、本センターでは、病気の治療だけでなく、さまざまな疾患の予防プログラムも用意しています。このような統合医療の実践だけでなく、学生、大学院生の教育の場としても位置づけています。さらに、市民公開講座、医療従事者対象の講習会なども開催しています。また、他の大学、研究機関、企業などと共同研究を行い、よりよい統合医療の確立を目指しています。



学内でTOEICテストを実施しました

附属図書館では学生、教職員の英語力を向上させる目的で第1回TOEICテスト(英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテスト)を実施しました。メールで募集したところ、学生(研究生含む)10名、教職員18名、合計28名の応募があり、リスニングテスト(45分間・100問)リーディングテスト(75分間・100問)合計2時間のテストが行われました。特にリーディングテストは「時間が足りなくて、最後の方はただ解答用紙にマークしただけ…今度は最後まで上手く時間配分したい。」という感想がありました。今後、英語による情報発信・情報交換・交流はますます必要不可欠となっています。英語の参考書等の充実、年2回のTOEIC試験実施等、英語力に磨きをかけて更にステップアップするチャンスにさせていただきたいと思っています。

